

# JUNGIDO

『遵義の桜、さらなる開花』

1898 =  = 2001

## CONTENTS

巻頭エッセー	1
同窓会入会にあたって	1
平成13年度総会のお知らせ	1
座談会「膳所高生今昔」	2, 3
周年記念同窓会報告	4, 5
周年記念同窓会予告	6
会計中間報告・総会提出議案	6
校舎改築に向けて	7
三田校長先生への謝辞	7
須田先生ご退職	7
膳所高NEWS	8

## 滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

VOL.18

発行人/宇野 勝  
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会  
 大津市膳所2-11-1  
 TEL077-524-4295・FAX077-524-1732  
 発行日/平成13年4月15日  
 編集人/広報部会・谷口啓司  
 印刷/有限会社服部印刷所

### 巻頭エッセー

タツノオトシゴ、アヒルの子、そして膳所高生  
 膳所高教育万々歳！  
 前校長 三田 俊雄



一〇〇億個以上あるといわれる脳細胞は、生後4〜5歳で、大人のほぼ95%まで成長するといわれています。そして、その後は一日約10万個ずつ壊れていくのだそうです。10年経てば3億6千万個壊れ、50年で18億個が壊れることになるわけですが、全体からすればたいしたことではないそうです。むしろタツノオトシゴに似ていることから海馬体といわれる記憶に関する部分などは、成人後も成長し続けているそうです。また、脳は5・6歳までにほとんど成長し終わるものの、残り5%くらいは、20歳くらいまでかけて成長するのだそうです。

ところで、最近ものすごい勢いでその構造が解明されつつある遺伝子は、ある時期だけに脳の細胞が働くよう命令することがあるそうです。これをインプリンティング(刷り込み)というそうです。たとえば、生後5・6時間から24時間までのアヒルの子は、そのとき最初に目にしたものを、それがたとえ丸いボールであれば、四角い箱であっても、一生自分の親だと思ってしまう。これは、遺伝子の命令によりその間だけ、親を識別する細胞が反応し、しかも一生続いていくのだと考えられるのだそうです。

また、ある期間子猫を縦横しかなく環境の中で育てると、その子猫は一生横線には反応しなくなるそうですが、同じことが親猫には起こらないということも知られているそうです。

人の脳でも同じことがあるそうで、生まれてからの時期に、どんなことを経験すればいいのかが大変重要なことだと考えられ、幼児期の家庭教育や社会教育の有り様について今一度考えるべきかもしれません。

ところで、先ほどの20歳までに成長し終わるとい

### 新入会員



### 同窓会入会にあたって

平成十三年三月卒業 加藤 司

「素晴らしい時は短く、苦しい時は長く感じる」ということを聞いたことがある。僕にとって膳所高校での三年間は明らかに前者であった。そもそも三年間という時間自体が非常に短いであろうが、まさに一瞬であった。しかし

同時に、僕が生きてきた十八年間のうちで最も密度の高い時間であったと思う。能力的にも精神的にも、社会人として生きてゆくために必要なことを非常に多く学んだ。これだけの時間にこれほどのことを学ぶことができたのは、膳所高校が自由な校風で個人の主体性を尊重する学校であったからに他ならない。いざ卒業に直面して、初めてそのことに気づくことができた。反省を感じたこともあったが、今となっては膳所高生であり多くの仲間と共にこの三年間を歩んでこれたことを誇りに思う。そして膳所高校で有意義に過ごす機会を与えてくれた多くの人たちに感謝せずにはいられない。僕はこの思い出と今の気持ちを宝物としてずっと心の中に留めておきたい。

脳細胞の残り5%についてはこの部分が正義感、責任感、人生観、他への思いやり、真理を求めるといった人としてのあるべき姿を考へることを司っていると考へられています。高校生から大学生の頃が、この人としての心を育てる最後のチャンスだということです。この時期に、偏ったものの見方、経験しにくいこと、ちょっとボールを親だと思ってしまうアヒルや、横線が見えなくなってしまう猫のように、人として完全な成長ができないことになるといわれています。

アヒルの子や子猫は、人間が強制的にそのような環境を作ったのですが、高校生は自分の意志で自らの環境を決めねばなりません。自分の脳は自分で鍛えねばならないのです。大学進学のみを意識した高校生活、勝つことのみを目標とする部活動、自分の好き嫌いを基準とした生活などが、大人になる最終段階である高校生活としては決して好ましいものでないことがよくわかります。

こう考えたとき、「文武両道」を校是とし、「遵義力行」を校訓とした膳所高の教育が、いかに理にかなっているかがよくわかります。「人としての有り様を求めよ。」と説き、「努力せよ。」と諭す校訓は、最新の遺伝子、脳の理論に叶っており、今更ながら歴史と伝統を誇る膳所高教育のすごさを感じるとともに、膳所高の発展を改めて確信しております。膳所高教育は万々歳です。

さて、私事で失礼ですが、平成12年度末の人事異動で、滋賀県総合教育センターへ転出することとなりました。短い期間ではございましたが、同窓会長様をはじめ膳所高同窓会の皆様には並々ならぬご支援ご鞭撻を賜りましたことに、心から御礼申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

会費納入ありがとうございました。

### 同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました、平成12年度の同窓会会費は、平成13年3月17日現在、

総額 **9,460,000**円

となっています。前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただいております。

会員の皆様のご理解に感謝すると共に、ますますのご協力をお願いいたします。

今回、平成13年度会費として振替用紙を同封いたしましたので、ご納入のほどよろしくをお願いいたします。

(財務部会)

### 平成13年度総会

本年の総会は5月13日(日)  
 平成13年度  
 総会のお知らせ  
 膳所高等学校同窓会平成13年度定時総会を左記の要項により開催いたします。本年は創立百周年記念事業も終了し第2グラウンドの効用が期待されます。校舎の改築が計画に挙がっております。この事業を盛り上げるためにも、本年度の総会に皆様方の多数のご出席をお願い申し上げます。

- 日時 平成13年5月13日(日)午前10時開会(午前9時30分受付開始)
- 場所 大津プリンスホテル  
TEL 077-522-1111
- 議事 平成12年度会務報告  
平成12年度会計報告並びに会計監査報告  
役員改選  
平成13年度事業計画並びに予算審議  
会則改訂の件  
その他
- 講演 「なぜテレビドラマか?」  
講師 八木 雅次氏(膳所高5回卒)  
プロフィールは6頁に掲載
- 懇親会 総会終了次第  
(懇親会にご出席の方は、会費を万円を当日会場でお持ちください。)

出席の方は同封の葉書でお知らせください。なお、欠席の方ご返信いただかなくても結構です。



# 自主力行、ここ一番の集中力

谷口 本日お集まりいただきました先生方はかつては膳所高で学び、そして教鞭もとられたという方々です。膳所高を離れられ、外から見た膳所高生の気質、あるいはおられた頃の膳所高についてお話をいただければと思います。私は広報部会長をしています谷口と申します。どうかよろしくお願いたします。

藤田 私が一番うれしかったことは、先生であると同時に先輩でもあり、先生と生徒以上の親しみ、先輩と後輩としての絆があったように思います。助かったこともたくさんあります。

## 補習授業の定着

藤田 私が進路指導をさせていただいていた頃、当時の校長先生は補習授業をしないことが自慢で、



全人教育、文武両道を誇りとされてきました。他校、特に南の方(九州地方)は凄まじい補習授業をされていまして、進路指導担当としては複雑でした。

## 補習とクラブ活動

谷口 運動部クラブの顧問の立場で補習授業をどうお考えですか。

須田 まず、試合には勝てないですね。クラブが沈滞しますね。ただ、去年の8月までインターハイで頑張っていた生徒が、京大に二人入りました。阪大医学部、愛媛大医学部にも一人ずつ現役で入りました。

## 旧教員座談会

# 「膳所高生今昔」

## 先生方大いに語る



岡野 どこで線を引くかですね。放っておいても合格する子は合格します。

藤田 クラブを熱心に行った子の合格率は結構いいわけですね。化学部で頑張っていた子も現役で入っています。普段の生活態度が受験にも通用したんですね。クラブでも学園祭でもやる時は思いっきりやる、完全燃焼です。補習が始まったのは平成になる少し前、各教科毎に入りましたのであまり抵抗がなく、自由参加で受講者も僅かだったのが、段々と全校レベルに移行していったのです。

岡野 僕がいた時にも、女子バスケの選手が京大へ現役で入りました。授業中に集中しているのです。

須田 試験、試験で追い詰めて学力を上げるやり方も一つの方法でしょうけど、クラブはしたいし、補習も受けさせたい。顧問としても辛いところですね。

藤田 進路指導担当としては何とかしなければというお役目意識もありました。

岡野 膳所高は周囲も期待していますからね。

## 全人教育と補習

谷口 全人教育、文武両道と補習授業との兼ね合いについて先生方はどう考えておられたのでしょうか。

岡野 本心と建前の中で19年間動めてきたように思います。膳所高には確かに良い素材が入ってきます。それをどれだけ伸ばしてやれるのか。膳所高からどれだけの人物が出ているのか、比率としては少ないわけですね。膳所高生の使命は京大に入るということという概念で、生徒をそこへ追いやるような気がします。もっと後の人生で花を咲かせるような人間を育てられないか、これは日本中の教育にいえることです。最終目標が大学合格、ここから先がないわけですね。まして今は一流大学、一流企業、終身雇用の図式は成り立ちませんからね。

藤田 友人に「合格させるのはいいけれど、それから後の教育はどうなっているのか」と言われたことがあります。

谷口 進学校の持つ使命みたいなものがありますね。

須田 入学式の翌日に新入生に試験をします。今の運動部の沈滞ぶりでは、もうチームゲームは勝てませんね。個人スポーツ、あるいは文化部は優勝するかもしれませんがね。

## 膳所高生の強み——ここ一番の集中力



岡野 3年間、百パーセントの力で勉強をし続けるのは無理です。早くからスパイトをかける息切れするだろうし、そのタイミングですね。膳所高生が違ってくるのは、ここ一番の集中力だと思います。

須田 目標を定めると結構やってくれます。

谷口 生徒が色々な考え方の先生とふれあって、自分なりに消化して、ここ一発で集中力が出るようにまとめられたらいいわけですね。

澤島 膳所高の生徒は、クラブをして勉強時間が取れないことを納得してましたね。だから切り換えができるし、浪人をしてもらってよく伸びるわけですね。私は地理を教えています。3年間日本史を学ばず地理と日本史は選振です。





早春とはいえ雪のちらつく三井寺境内のレストラン「風月」で、かつて膳所高で学ばれ、そしてまた教鞭をとられた先生方にお集まりいただき「膳所高生今昔」のテーマで座談会をしていただきました。在職中の思い出や苦悩を語り、膳所高への思いなど伺いました。皆さん、普段の顔で気楽にお話くださり、教育論や教師論にまで話題が広がる場面も見られました。膳所高生の優秀さが膳所校を離れてみて初めて分かった、その優れた素質を生かして将来伸びる教育をという先生方の熱い思いが聞かれました。

社会の中でかつてのよう将来の図式が描けない昨今、今日のお話は教えられるものがありません。先生方は現在、他高校や大学で活躍中です。

幸い本紙は、18号から在校生にも配布されることになり、生徒たち、保護者の皆さんにも読んでいただけそうです。

紙面の都合上、一部分のみ掲載させていただきます。ご了承ください。

ご協力ありがとうございました。

(花坂)

出席者(敬称略)

( )内は在職期間

岡野 靖男

(昭和47年4月)

藤田 健三

(昭和55年4月)

須田 武志

(昭和41年4月)

澤島 博

(昭和63年4月)

◆平成13年3月11日(日)

◆レストラン「風月」

午前11時～午後2時

平成12年3月) 社会

平成13年3月) 理科

平成13年3月) 保健

平成13年3月) 体育

平成13年3月) 音楽

平成13年3月) 美術

平成13年3月) 英語

平成13年3月) 数学

平成13年3月) 物理

平成13年3月) 化学

平成13年3月) 生物

平成13年3月) 地学

平成13年3月) 歴史

平成13年3月) 地理

平成13年3月) 公民

平成13年3月) 家庭

平成13年3月) 保健

平成13年3月) 体育

平成13年3月) 音楽

平成13年3月) 美術

平成13年3月) 英語

平成13年3月) 数学

平成13年3月) 物理

平成13年3月) 化学

平成13年3月) 生物

平成13年3月) 地学

平成13年3月) 歴史

平成13年3月) 地理

平成13年3月) 公民

平成13年3月) 家庭

平成13年3月) 保健

平成13年3月) 体育

平成13年3月) 音楽

平成13年3月) 美術

平成13年3月) 英語

平成13年3月) 数学

平成13年3月) 物理

平成13年3月) 化学

平成13年3月) 生物

平成13年3月) 地学

平成13年3月) 歴史

平成13年3月) 地理

平成13年3月) 公民

平成13年3月) 家庭

平成13年3月) 保健

平成13年3月) 体育

へん寂しかったですね。だから人生論はクラブの生徒とたかかわせました。生徒も忙しかったんでしょね。

谷口 保健室登校や、社会的な問題を起こす子はいませんか。

藤田 私が生徒指導を担当した時は非行はほとんどなかったです。不適応症はありましたね。カウンセリング委員会ができましたね。でもカウンセリングに来るよりも保健室へ行くのです。結構ありましたね。

須田 私が3年生を担任している時に、校外模試を有志だけでやりたいと言われました。それがいつの間にか一斉に実施されるようになり、エスカレートして2回になり3回になり、さらに2年生、1年生までやるようになりましたからね。実力考査や校外模試の受験科目も増えてきました。ある文部大臣が大学入試を9月にすればよいとおっしゃってましたが、そうすれば3年間きちんと勉強でき、またクラブも充実するでしょうね。

澤島 入試に必要な科目は勉強しない。その時は無駄と思えても、社会に出るとそれは絶対生きてくるはずなんです。僕らの時は全部やっていた。損得勘定で考えて早くから必要な科目を絞り込んでいるのが現状です。

谷口 進路の先生が進路のことだけを考えればそうなるでしょうね。ただ、文武両道が膳所高のお続く伝統であれば、もっと幅広いものを求める教育であってほしいですね。これは無理でしょうか。



澤島 入試に必要な科目は勉強しない。その時は無駄と思えても、社会に出るとそれは絶対生きてくるはずなんです。僕らの時は全部やっていた。損得勘定で考えて早くから必要な科目を絞り込んでいるのが現状です。

自主性

岡野 修学旅行へ行った先々で「お宅の生徒さんは何でも自主的にされますね」と褒められましたね。放っておいてもしてくれるわけで、その特性をうまく利用する方法もあると思います。

藤田 うちの修学旅行は班別自由行動のときなどは私服でしたが、リベラルな中に統一の美があると感じたこともあります。

澤島 自主性ということでは、赴任してすぐに、LHRで口出しして、生徒にピシッと「ここは膳所高です。先生は口出しをしないで黙って見守ってください」と言われたことがあります。

谷口 新聞紙上を賑わすような高校生の問題は、膳所高にはほとんどないということですね。先生と保護者の教育が良いのでしょうか。

澤島 保護者は子供さんを信頼されていますね。

家庭環境に恵まれているんでしょね。

澤島 膳所の教師は、教師集団としてのチームプレーがあったような気がします。

須田 先程、会議の話が出てましたが、私が赴任した当時は会議は学期の始めと終わりあと一回ぐらいしかなかった。それが今は会議のない日の方が少ないですね。

澤島 集団で決めないと物事が動かない時代になっています。

岡野 生徒指導の先生が忙しい学校、会議が多い学校は良くないというのが私の信念です。

膳所高へのメッセージ

谷口 今後の膳所高がこうあってほしいという希望、メッセージをお願いします。

岡野 生徒の資質から考えて、他校と違ったやり方でもよいのではないかと。教師も保護者も視野を広く持つてほしいですね。横綱クラスの子を思いつき伸ばす教育が必要でしょうね。生徒には膳所高生としての誇りを持ってほしいと思います。

藤田 人間として真つ当に育っていく教育を先頭を切ってやっています。今の子は我慢ができない、これは頭の良い子に結構います。頭一辺倒ではなく心の教育が必要です。

須田 私は男子バスケット部の生徒に体育館の便所と更衣室の掃除を毎日させており、時々は校門の掃除もさせています。膳所高は進学校であっても受験校になってほしくないのです。生徒の今後70年近く生きるであろう人生をわずか高校3年間で決めてしまうのに疑問がありますね。あせつてほしくないです。クラブと勉強の両立を学校が邪魔している部分があります。

澤島 膳所高は高校らしい高校であってほしいです。この先どう変わるかわからないのに、これしかないという勉強の仕方、考え方はどうかと思います。もともと色々なことを学んでほしいですね。今は広い人間をつくることに逆行している部分が多くなっているような気がしています。

岡野 教師論になりますが、今の先生は教科の顔が見えてきません。以前は、英語の先生なら分厚い原書をいつも読んでられたり、生徒指導や進路指導や会議に時間を費やして、教科の特色がないわけですね。

谷口 今日はお忙しい中をお出ましいただきまして、色々貴重なお話をいただきました。ありがとうございました。

ないまま卒業する生徒、地図帳を広げないまま卒業するという現状がそこにはあります。私の地理の授業にはそれなりの夢、自負があり、それを伝えるようにと授業が遅れるというジレンマもあるわけです。

藤田 私は理科ですが、膳所にいた時の理科教育は鼻が高かったと思います。総合理科の視点から理科Iと、選択の余地をもたせて物理、化学、生物、地学と教えていました。進学校でこれができる学校は珍しいです。ただし、傾向としては進学に傾きすぎているカリキュラムの内容であることも確かです。

岡野 人間は誰でも規制されると嫌になりますね。補習でも制度化するのは、膳所高の素質からいくと外から条件を整えすぎるのはいかがかと思えますね。やる気につながるいやり方です。

集団の力

澤島 僕が来た時は夏休み中の補習もなく「膳所高は何もしないところですよ」と言いましたね。授業だけを中心に行っているのが誇りでもありません。良くできる生徒は先生の目を絶えず見ています。「天狗になったらいかん。謙虚になれ。実力だけで膳所に入れたんやない。親、教師、仲間という環境に生かされてるんや」といつも言っていました。



藤田 私が赴任した時に奥村教頭先生に、「膳所高の教育は飽くなき厳しさへの挑戦です」と言われました。教師にとっても厳しく、自分の恩師がまだ大勢おられましたからね。そして私が同僚の力を借りて挑戦したことは進路指導の情報処理の校内化、マニュアル化で、新任の先生もそれを見れば分かるようにしました。昔は本当に大変で、ここで頑張らなければという集中力を教師集団が持つていて、以心伝心で生徒にもある程度伝わったでしょうね。情報処理により受験の範囲が広くなりました。

岡野 私が赴任した昭和47年は、教師の半数以上は私らの時の先生で、大学の研究室のような雰囲気でしたね。ところが「10年以上の勤続は駄目」という県の方針が出て、職員室の雰囲気が変わり、生徒自身の質も変わったのか段々と変化してきました。生徒と先生の交流の場がなくて、それが大

# 親も教師も視野を広く...



# 周年記念同窓会



## 10周年記念同窓会

(膳所高39回・平成3年卒業)

去る2001年1月2日に平成3年卒業生の同窓会を京都駅前のおぼろのプラザ京都で行いました。当日は132名(うち恩師4名)が集まり、会場は10年ぶりに顔を合わせる同級生のあふれんばかりの熱気に包まれました。とくに場を盛り上げるゲームなどは必要なく、2時間の会は語り尽くせないままに、あつという間に過ぎてしまいました。



出席確認のほがきを使って同級生の近況を綴った冊子を作成し、会場で配りましたがこれが好評でした。やはり、なんらかの記録は残しておくべきなんだなと実感しています。今回は、同窓会事務局の協力和電子メールのおかげでたいした苦勞もなく進めることができました。若い世代の方は氣負わずに幹事をされるといいと思います。当日出席できなかった同級生にも先ほど紹介した冊子をお配りしていますので、藤本健太(kenta\_box@dream.com)まで連絡をください。(藤本健太)ではまた10年後に再会しましょう。

## 20周年記念同窓会

(膳所高29回・昭和56年卒業)

新世紀を迎えたばかりの1月2日、29回卒業生による卒業20周年記念同窓会が琵琶湖ホテルで開催されました。大野富雄先生、西村勝晴先生を始めとする17名の懐かしい恩師の先生方をお招きし、126名の同窓生が集い盛大な同窓会となりました。受付を始める頃より懐かしい姿を見つめるやいな

や「久しぶりやなあ」などと声をかけ合う様子があちこちでみられ、誰もが20年前の学生時代にタイムスリップしたようでした。

宴会の司会はNHKラジオでアウンサーをされている同窓生の岡崎裕子さんで、その軽妙な進行で各恩師の方々からお話などをうかがいながら懐かしさがさらにこみ上げてきました。花東・記念品の贈呈と校歌斉唱でお開きとなりましたが、私たち幹事はもちろん、出席者一様に満足な気持ちになれたと確信しています。これをきっかけにクラスや有志による新たな同窓会が開かれることを誰もが期待しているに違いありません。いろいろご協力下さった皆様方に御礼申し上げます。(福井 浩)



## 25周年記念同窓会

(膳所高23回・昭和50年卒業)

穏やかな5月晴れの4日、昭和50年卒業生12名は琵琶湖からゆったりと流れ出る瀬田川のほとりにあるホテルに集った。高校卒業25周年同窓会に出席するためである。我が同窓生が一同に会するのは今回で4回目、毎周年輪を重ねた様々な友人に出会えるのは実に楽しい。

先生方は10名来られた。恩師はいつまでたっても恩師である。昔話を大いに語って頂いた。心を熱くする言葉ばかりであった。クラスごと壇上に上がってそれぞれ好きなように自己表現した。40



の半ばといえは社会の中核で多くの責任を担う極めて重要な年代、日頃は厳しい表情が緩むことがないであろう。しかし、今日のこのむじやきであどけない顔つきはどうだろう。これこそが同窓会のすばらしさと思った。

恩師の講話に感動し、友人と杯を酌みかわし恋焦がれていた人に顔を赤らめ、ゲームで数万円を手にし、それぞれが様々な思いを胸に矢の如く過ぎ去る時間を惜しみながら、5年後卒業30周年同窓会での再会を誓い合った。

ホテルから駅までのバスの中で「これが青春だ」「青春時代」などの青春賛歌を大合唱、運転手のおじさんもおいっしょに歌ってくれた。最後に幹事の皆さんたいへんご苦勞様でした。次回もまたよろしく願います。(姜永根)

## 30周年記念同窓会

(膳所高19回・昭和46年卒業)

21世紀の幕が明けて2日目、琵琶湖ホテル瑠璃の間で、11人の恩師の方々と同窓生12人が集いました。

30年の歳月は、個々に経験した人生を物語るかのように、それぞれの外観を変容させています。戸惑い、首をかしげつつ近寄りながら、またたく間に昔のあの日のあの時に戻り、共に新世紀を迎えられたことを喜び合いました。

テレビで司会の経験も豊富な今城(旧寺嶋)千重子さんの見事な進行ぶり、物故者黙祷に始まり、乾杯、歓談へと宴が進みます。羽目をはずしたり泥酔したりする者もなく、各組3分ずつという近況タイムは途中から自己紹介時間となりまし

た。携帯カメラもならず視線を壇上に合わせて席につき静寂を保つき姿はさすが50代に手の届く世代、近年の新成人に見習わせたいほどでした。

開会のご挨拶賜りました松山先生、乾杯のご発声をお願いした小笠原先生はじめ、担任恩師先生方、ご出席有難うございました。また隣の会場での20周年同窓生の皆さまには、こちらの会が長びきご迷惑をかけたことお詫び申し上げます。次回5年後35周年の幸福な再会を約束し散会いたしました。(幹事代表 三元・水谷・佐久間)



## 膳伍回記念同窓会

(膳所高5回・昭和32年卒業)

私達は昭和32年(一九五七年)3月卒業しました。本年は卒業43年にあたり還暦の歳も過ぎ定年退職を迎えた方々も多くなってきました。今までは5年毎に記念同窓会を催してきましたが、これからは5年は長いのではないかとの声があり、急遽学年同窓会を計画しました。平成12年11月19日(日)琵琶湖ホテル ローズの間に80名が集い、岡田節夫恩師、谷元峰夫恩師をお迎えして、懐かしい思い出の語らいにあつという間に時間が過ぎました。

関西膳伍会は毎年4月に、関東膳伍会は9月第一日曜日に定期的に開催されています。





関西膳伍会は中村幸弘氏（Tel 072-1823-16346）関東膳伍会は入江直氏（Tel 03-1339912866）が世話役をさせていただいています。今まで音信のない方は世話役に連絡して開催をご確認ください。

2年後の卒業45周年の再会を楽しみに元気で居られることを念じつつ名残り惜しくもホテルをあとにしました。（小西 英太郎）

### ふなの会（大津高昭和27年卒業）

ふなの会は卒業年度の二七と、琵琶湖の鮎に因んで付けられた名称で、卒業以来平均4年に1回開催されています。

20世紀最後を飾る大会が、去る平成12年10月21日大津プリンスホテルで、近畿を中心に全国から157名（男84名・女73名）の会員が参集して盛大に催されました。

物故者へ黙祷をさされた後、特別料理に舌鼓をうち乍ら思い思いに旧交を温めると共に第二の人生への夢を大いに語り合い、琵琶湖就航の歌や故郷などを全員で大合唱して幕が閉じられました。

なお平成14年には卒業50周年の記念大会が開催される予定です。



### 真珠会（昭和24年卒業・旧大津）

緑爽やかな6月18日、第11回真珠会を瀬田川のほとりロイヤルオークホテル内の湖園で開催しました。

松山先生をお迎えして、クラスメイト18名が集まりました。私達の現在の在籍者は45名で出席率はたいへんよく、40%でした。

先生の心温かなお話を伺い、皆の健康を祝して乾杯の後、湖園のソフトな、本場の広東料理を味わいながら、気分はすっかり学生時代でした。



会もたけなわの頃、日頃一番苦手を発揮力を活かしたゲームなどに、笑いこぼれたひとときもあり、久しぶりに若やいだ和やかな一日を過ごすことが出来ました。（当番幹事）

### 卒業50周年記念祝賀会

大高一回生の卒業50周年記念祝賀会（岡角憲次実行委員長）が去る6月10日、大津プリンスホテルで開かれた。来賓として三田俊雄現校長および松山義夫元校長ら6名の恩師を招き、15名の同期生が出席した。太平洋戦争末期に旧制の中学校、女学校に入学し、2年生の夏終戦、5年生に進級するとき新制高校の2年に編入され、初めて男女共学を経験した仲間たちだ。敗戦後の食糧難と混乱のなかで、自らの進路と民主主義のあり方を模索した若者たちもすでに古希目前。お互い同士は青春の日の残照を確認しあえても、肉体の衰えはいかんともしがたく、飛び入りのクラスや踊りで盛り上がるいっぽう、これからは健康に留意し、後世に歴史を伝える語り部に徹しようなどと、老境の諦念を感じさせる会話が交わされた。10年後、卒業60周年記念パーティは果たして開催できるかどうか。そのことを思うと一抹の淋しさがある。（高橋）



### 55周年記念同級会（膳中43回4年卒組・昭和20年卒業）

昨年10月5日、旧膳中校歌の一節「秋澄み渡る琵琶湖の水」を前に、遠く比叡・比良を望むロイヤル・オーク・ホテルで、13回目（平成9年から毎年）のクラス会を開催し、昨年を上回る66名の出席を得た。

級友の殆どが六巡目の年男となり、いよいよ懐旧の念熱しがたく、今年も関東・中部・四国など遠隔地からの出席が目立ち、大いに久闊を叙した。今回は、冒頭、浅田泰次君（元愛媛大学長）に卓話を願った。21世紀を我ら如何に生くべきか。荒廃した精神風土の立て直しにこそ我々の社会的

な役割があり、より積極的な生き方をとの卓説に共鳴し、即実践として社会福祉団体へのチャリティ募金に五万円余りが集まった。卒業50周年にあたり、奇しくもミレニアム。今回の記念すべきクラス会は図らずもこれによって実を具えることができた。

懇親会では、前日の全国コンクールで、見事「銀賞」に輝いた大津男声合唱団の主力メンバーである級友四君（西川隆・三木・三品・山元）による至芸のハイモニーに暫し陶然の一場もあり、恒例の校歌大合唱をフィナーレに、来年（草津）の再会を約して会を閉じた。（家田嗣郎）



### 膳中三七クラス会

一昨年創立百周年記念に我が三七会（37回卒）を紹介してより早くも2年を経過。時の流れの早さを今更の如く感じ何時しか傘寿を迎える年齢になり、その後鬼籍に入りし人も数名ありて只々寂寞の情を禁じ得ない今日この頃である。今年には新装成ったびわこホテルに22名の同級生が集まり六十数年前にタイムスリップして大いに往時を語り、今は亡き多くの同窓に黙祷を捧げその冥福を祈ったが、その宴会に先立ち我が郷土の誇り近江神宮に参拝したのである。近江神宮は我々が学中に紀元二千六百年記念事業として、造営が始められ丁度5年生の夏の頃で夏期休暇を利用して武道場に蚊帳を張り、全員起居を共にし、鉄・鶴嘴・スコップ等をもって勤



勞奉仕に汗した誠に因縁深き神宮にて、今や半世紀を経た宮居の佇まいは深き杜に包まれ荘厳な神苑を形成している。打ち揃って神前に詣で玉串を捧げ今日まで健在であり得た感謝とを諸々の平安を祈り、意義ある集いとなった。最後は何時もの如く我が校歌「春駱蕩の琵琶湖 霞渡るをうららけき」を熱唱し再会を期して解散したのであるが、ここで校歌について一言つけ加えて後輩の皆さん方の参考に供したい。昭和9年我々が入学して最初に歌ったのがこの校歌であり、在学中は「Z」の旗印をこの「校歌」に青春のありつたけをぶつけて歌ったものである。併し昭和11年杉本校長の時代になり新たに「草生す城は墟古れど、由緒たふとし道義堂」が制定され以後は旧校歌を歌うこともなくなり、今ではその旧校歌を知る人も少なくなつたと思われるが、その歌の「訓え」や内容は今日でも全く違和感のない平和を象徴する立派な内容である。後輩の諸君も古きを尋ねて一度歌ってみては如何か。その歌詞を添付しておきます。膳所高校の栄ある発展と校友各位のご健康を祈る。（幹事 清水仙太郎）

### バスケットボール部OB・OG会 創立50周年記念式典開催

平成12年8月26日（土）ホテルピアザびわ湖クリスタルルームにて、三田俊雄校長、宇野勝憲会長、恩師重田みち子先生、顧問北条勇先生、現顧問石川一葉先生、三原ゆか先生をお招きし、ご来賓をお迎えし、会員52名、現役22名の参加を得て、膳所高校バスケットボール部OB・OG会創立50周年記念式典が行われた。中村健OB・OG会会長、関口英巧名誉会長の挨拶、来賓祝辞の後、なごやかに祝宴が開かれ、ひととき歳を忘れて、想い出話や自慢話のバスやシュートが和気藹々と交わされた。（谷口）



膳所高校バスケットボール部 OB・OG会創立50周年記念パーティー





# 周年記念同窓会 予告

## ■20周年記念同窓会

昭和57年卒業（膳所高30回）

日時 平成14年1月2日（水）  
お昼ごろより

会場 琵琶湖ホテル  
連絡先 宇田 賢一  
(077158118450)

※詳細は、別途案内いたします。

## ■30周年記念同窓会

昭和47年卒業（膳所高20回）

日時 平成13年9月9日（日）

会場 琵琶湖ホテル（浜大津）

※詳細は、次号 JUNGIDO（二〇〇二年四月刊）に掲載します。

昭和47年卒 理事一同  
（浦田利彦、大沼康三、岡島肇、國松貞二、高田明彦、外村徹、中川淳、林茂典、藤井敏、増田勝巳、山本秀夫）

## ■40周年記念同窓会

昭和36年卒業（膳所高9回）

日時 平成13年9月9日（日）

会場 琵琶湖ホテル（浜大津）

## ◎平成13年度総会 記念講演 講師

### 八木雅次氏 プロフィール

主な制作ドラマ

- 1989年 京都市中京区生まれ
- 1954年 大津東高校入学
- 1957年 京都大学文学部入学
- 1962年 日本放送協会（NHK）入局

以降36年間NHKにてテレビドラマの製作・演出に携わる。

現在、関西大学文学部講師（大阪府枚方市在住）

主な演出ドラマ  
歳月・面影・泉・水色の時・雲のじゅたん



妹・都の風・はっさい先生・黄色い髪・夕陽を浴びて・兄弟・大河ドラマ信長・理想の男性・この指とまれ・もう一つの家族・生前予約

## ■東四45周年記念同窓会

昭和31年卒業（大津東高4回）

日時 平成13年10月7日（日）  
午前10時半受付

会場 琵琶湖ホテル 瑠璃の間

※詳細については追ってご案内させていただきますので、皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

## ■真珠会（同級会）

昭和24年卒業（旧大津）

日時 平成13年5月19日（土）

会場 見学 松伯美術館及び佐伯邸  
奈良市登美ヶ丘二一―一四  
(074214116666)

同級会 百楽荘  
奈良市百楽園町三―一三  
(074214510281)

連絡先 (077152210025 佐田)

## 平成12年度同窓会会計中間報告・平成13年度同窓会総会提出議案

3月10日(土)アヤハレークサイドホテルにおいて開催されました同窓会理事会で、平成12年度同窓会会計中間報告が承認され、続いて平成13年度の事業計画・予算案が平成13年度総会提出案として承認されました。

### 平成12年度 同窓会会計中間報告（H12.4.1～H13.2.25）

#### 一般会計

##### 〈収入の部〉

項目	金額	H12年度予算	備考
前年度繰越金	4,901,383	4,901,383	
平成12年度会費	3,573,500	3,800,000	会費会計より振替
前受会費	6,048,000	6,048,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,326,000	1,320,000	
雑収入	36,765	30,000	受取利息+タックホル代等
合計	15,725,648	15,779,383	

##### 〈支出の部〉

項目	金額	H12年度予算	備考
総会費	578,385	1,100,000	
会議費	47,221	300,000	
交際費	4,672	80,000	
通信費	420,415	470,000	
光熱費	119,549	150,000	
旅費交通費	31,680	180,000	
支払手数料	90,046	130,000	
雑給与	1,988,000	2,200,000	
コンピューター関係費	88,253	300,000	
事務用品費	310,567	380,000	
備品・消耗品費	110,533	100,000	
広報発行費	937,125	970,000	
広報発送費	2,363,563	2,480,000	
テレカ作成費	-	350,000	
学校助成金	500,000	500,000	
慶弔費	74,470	100,000	
班活動奨励金	1,000,000	1,000,000	
広報部部会費	80,487	350,000	
組織部部会費	1,588	300,000	
事業部部会費	386,150	400,000	
財務部部会費	-	200,000	
総務部部会費	27,253	200,000	
予備費	-	3,859,383	
合計	9,319,933	15,279,383	

差引現在残高 6,375,715 (=15,725,648-9,349,933)

平成13年2月25日現在

一般会計現在残高 6,375,715 + 会費会計現在残高 13,503,741 = 19,879,456

#### 会費会計

##### 〈収入の部〉

項目	金額	備考
前受会費繰越金	57,243,741	
平成12年度会費	3,354,000	
平成12年度端数会費	19,500	
平成12年度前受会費	3,304,000	
合計	22,925,241	

##### 〈支出の部〉

項目	金額	備考
平成12年度会費	3,354,000	一般会計へ振替
平成12年度端数会費	19,500	一般会計へ振替
前受会費平成12年度分	6,048,000	一般会計へ振替
合計	9,421,500	

差引現在残高 13,503,741 (=22,925,241-9,421,500)

#### 特別会計

##### 〈収入の部〉

項目	金額	備考
前年度繰越金	3,509,501	
百年史売上金	5,000	
百周年募金	4,930	
利息	3,125	
合計	3,522,556	

##### 〈支出の部〉

なし 差引現在残高 3,522,556

#### 名簿会計

##### 〈収入の部〉

項目	金額	備考
前年度繰越金	8,289,987	
名簿売上金	26,900	
利息	6,426	
合計	8,325,313	

##### 〈支出の部〉

なし 差引現在残高 8,325,313

### 平成13年度 事業計画案（概要）

- 会員相互の親睦と教養の向上、母校に対する支援・協力の諸事業を行う。
- 総務部会 年次総会・理事会の開催、役員会には必要に応じ開催する。
- 財務部会 会費収入の減少が予測されるので会費納入の促進、財政面の充実に努める。
- 事業部会 総会の開催、ゴルフ大会等の開催を通じて同窓会活動の活性化を図る。
- 広報部会 会報「JUNGIDO」の発行を今年度は1回とし4月中旬発行。
- 組織部会 各組織の充実、年間を通し名簿の整備を図る。

### 平成13年度 予算（案）

#### 一般会計

##### 〈収入の部〉

項目	H13年度予算案	備考
前年度繰越金	6,375,715	
当年度会費	3,000,000	
前受会費	5,666,378	
同窓会入会金	1,320,000	
雑収入	30,000	
合計	16,392,093	

##### 〈支出の部〉

項目	H13年度予算案	備考
総会費	880,000	
会議費	250,000	
交際費	70,000	
通信費	694,000	総会出欠はがき・会費振込用紙代含む
光熱費	170,000	
旅費交通費	150,000	
支払手数料	130,000	
雑給与	1,980,000	
コンピューター関係費	200,000	
事務用品費	250,000	
備品・消耗品費	100,000	
広報発行費	934,000	1回分
広報発送費	2,363,000	1回分
テレカ作成費	350,000	
学校助成金	500,000	
慶弔費	100,000	
班活動奨励金	1,000,000	
広報部部会費	315,000	
組織部部会費	160,000	
事業部部会費	360,000	
財務部部会費	160,000	
総務部部会費	180,000	
予備費	5,096,093	
合計	16,392,093	



## 三田校長のご転出

昨年4月に、校長として本校に着任された三田俊雄先生が、この度の人事異動により平成13年4月から滋賀県総合教育センターの所長として赴任されることになりました。この一年間、新しい世紀にふさわしい本校の教育を模索され、校舎改築をはじめとしてさまざまな面で、ご尽力されました。また、同窓会活動にも多大なご協力、ご支援をいただきました。

さまざまな角度から高い識見をもってご指導下さった先生とわずか一年でお別れするのは残念ではありますが、このからは本校をはじめとして滋賀の教育全体の発展のためお力添えいただけることを信じ、先生のご健康とご活躍をお祈りしたいと思います。

## 三田校長先生への謝辞

会長 宇野 勝

三田校長先生が今春にご転出になりました。一年と言う短い間ではございましたが、ご在職中は、伝統ある膳所高校の教育推進にご尽力され、生徒、保護者、そして県民から厚い信頼を得る成果を上げられました。同窓会としても深く謝意を表しますとともに、今後のご多幸と本会への変わらぬご鞭撻をお願いし、贈る言葉といたします。ありがとうございます。

## 須田先生のご退職

毎年この時期にはお別れする先生方がおられます。今年は、本校教育に多大の功績を残されました須田武志先生のご退職なごこととなりました。先生は昭和34年3月本校をご卒業（膳所高校第7回）になり、大学ご卒業の後、昭和38年から保健体育科教師として彦根東高校（3年間）に赴任され、その後本校に移られ以来35年間勤務されました。その間、体育・保健の指導に加え、バスケットボール班指導者として全国大会へ26回出場されました。文武平等をチームの経営方針として、献身的なご努力によりイ



ンターハイへは9回連続出場という輝かしい記録もうち立てられています。

この度のご退職にあたり、3月14日より本校会議室にてご退職記念展示会が企画され、先生がこれまで保存されてきた教育活動資料を公開していただきました。びわこ国体時の記録映像、バスケット班に関する新聞記事等々、先生の歩んでこられた長い年月の貴重な資料を目にする事ができました。

先生は、これまで、健康第一をモットーに、酒・タバコ・コーヒーには近づかず、車・クーラー・コンピューターに頼らない生活を心がけてこられました。また、生徒に対しては「人生は長い。目のことだけを考えず残りの人生を有意義に過ごせられるように、あせることなく勉強だけでなくスポーツ等にも励んでほしい」と語ってこられました。「おらかな、形にこだわらずに学校であってほしい」とこれからの膳所高校への期待も述べられました。

長年にわたり、ご指導下さった先生をお送りするのは寂しい限りですが、今後は一歩離れたところから本校の教育及び同窓会活動にお力添え頂けることを信じ、先生のますますのご健康とご活躍をお祈りしたいと思います。

## 校舎改築に向けて

膳所高校校前事務局長 和泉 正俊

膳所高校の現校舎については、昭和35年に建設されたものでありますが、約40年を経過した現在では全体として老朽化、狭隘化しております。また、教育の個性化、多様化や創造性、自主性の尊重など、21世紀の膳所高校の教育に対応できる校舎を整備していくことも今後の課題となっております。これら校舎の改築、整備の問題が膳所高校校同窓会の皆様の多大なご支援をいただいて、創立百周年記念事業を終え、第2グラウンドの整備を終えた膳所高校にとって、残された大きな事業となっております。

こうしたことから、県教育委員会においては平成12年度に膳所高校の校舎改築の基本計画を検討いただき、また本年度は県の財政状況が非常に厳しい中ではあります、校舎改築の実設計予算を確保するとともに、平成14年度以降の校舎改築の方向についても一定明らかにしていただきました。今後、平成14年度、15年度の2ヶ年で校舎の改築とともに、武道場、プールの改築とセミナーハウスの新設が行われる予定となっております。そして平成16年度には現在の校舎の解体と新たなグラウンドの整備が行われる予定です。私たち本年度は、校舎改築の設計が行われることとなりますが、本校と致しましては、21世紀の教育に対応でき、また膳所高校としての特色あ

## 事務局よりお知らせ

名簿リスト・宛名タックシール「出力サービス」していただきます。

各学年の同窓会・クラス会を開催される幹事さん、各クラブOB会等、膳所高校同窓会に関する名簿・タックシールが必要な方は、同窓会事務局までお知らせください。（非常利目的に限りません。）コンピューターより打ち出し廉価で提供いたします。（タックシールですと貼るだけで宛名書きの手間が省けます。）

住所リスト 1頁当たり10円（10名/1頁）宛名タックシール 1人1枚分 3円

## 同窓会名簿 4000円で販売中

膳所高校創立百周年記念にあわせて作成されました「平成10年度同窓会名簿」の残り在庫数が30冊となりました。1冊4000円（送料込みで4300円）で販売致しております。ご希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。

## 膳所高校卒業生寄贈図書「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次（版次）

- 「NHK報道の記録」刊行委員会（滝川信宏・編集委員）
- 「NHK報道の50年」
- 激動の昭和とともに
- 岡本 包治編著（滝川信宏・執筆）
- 学習ニーズに応える資格
- 藤井 靖子 歌集「曇り日のランナー」
- オノ ミユキ HAPA HAPA 朽木村
- 柿木 重宣 「ふしぎな言葉の学」
- 日本語学と言語学の接点を求めて
- 中島 峰夫 「軍部・大津」
- 高校生のための社会科学読本

## 卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

同窓生の書を集めた「石鹿文庫」も皆様の寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

なお、平成8年以前に5年会費を納入いただいた方で5年会費分が満了した方にも振替用紙を同封させていただいておりますのでお調べいただきますようお願い申し上げます。

会費は年額3,000円となっておりますが、5年（15,000円）、10年（30,000円）まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕（振替用紙は共通です。）  
郵便局 01010-3-30378  
銀行 滋賀銀行 本店 (110) 普 913381  
びわこ銀行 本店 (111) 普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高校同窓会 会長 宇野 勝 です。  
※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみで、卒業後5日目から会費納入をお願いしています。  
※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入ください。

## 滋賀県立膳所高校同窓会 年会費納入のお願い



ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

同窓会会員の皆様には、本会活動に暖かいお力添えをいただき誠にありがとうございます。平成13年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただきますようお願いいたします。





### 学校評議員制度始まる

「学校評議員」は、保護者や地域の方々の意見を中広く校長が聞くためのもので、平成11年10月に発足した制度です。これより、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開することができそうです。

本校では、平成12年度から次の5名のみならず、評議員を委嘱しました。

- (敬称略、五十音順)
- 岡角 憲次 膳所高校同窓会副会長
  - 奥村由美子 保護者
  - 武原 溥 元膳所高校校長
  - 長尾 卯 びわこ銀行頭取
  - 西田将一郎 地元自治会連合会長

### 感激一汐！ クラス代表それぞれが感謝の言葉を！！

## 第49回卒業式

3月1日に、本校体育館にて第49回卒業証書授与式が行われ、442名が学舎に別れを告げた。在校生(2年生全員、1年生代表)、教職員、保護者が出席し、来賓として、宇野同窓会会長、元校長松山先生、同佐野先生、同南池先生、同武原先生、前校長浅田先生、旧職員森田先生、PTAの小島前会長、同高木会長、同大江副会長、学校評議員奥村氏の出席のもと、盛大に開催された。

3年生各クラス毎に担任から呼ばれ、卒業証書が代表に授与された。その後、三田俊雄校長は式辞の中で、「前途多難な今の時代こそ、過去の良きものに学び、公の心をもって新しい時代を切り開いていくことを希望します。」さらに、「進路を見据え、磨いていくように」と、校訓の遵義・力行を生き方の指針とするよう述べられ、卒業生への饒の言葉とされた。

今回は卒業生の言葉を3年2組木建君、3年11組丸田君が代表して読み上げた。行事など3年間の思い出を述べた後、各クラス代表が加わりクラス担任・学年主任等へそれぞれ感謝の気持ちを述べた。最後に「膳



朝日新聞社提供

### 同窓会入会式開催

2月28日に、同窓会入会式が行われ、男子247名、女子195名、合計442名の新しい同窓会員を迎えた。宇野会長より歓迎と激励の言葉が贈られた。その中で、「身体を鍛え、中のある人間になり、一隅を照らす、なくてはならぬ人になるように」と卒業生にユーモアを交えて語りかけられた。

新卒業生の各クラス同窓会理事は以下の通り。21世紀の同窓会活動の中心となり、若いエネルギーを結集させていきたい。

- 理事
- 1組 前野 智子 2組 小森 一生
  - 3組 阪倉 渉 4組 山極 光也
  - 5組 七里 武史 5組 大山 達寿
  - 6組 柳 勇也 7組 真田 悦子
  - 7組 山本 俊輔 8組 仲井 龍志
  - 9組 谷田 健 10組 大橋 和也
  - 11組 堀 哲雄
- なお、常任理事には前野さん、小森さん、仲井さん、谷田さんが選ばれた。

### 班活動報告

#### 全国大会の結果

- 【体育部】 インターハイ
- 陸上 須田 嵩司 400m 出場
  - 卓球 男子ダブルス 一回戦出場 (西川 佳宏・竹村 亮太組)
  - バスケットボール 男子 一回戦出場 (出場23回)
- 国民体育大会
- 陸上 須田 嵩司 400m 5位
  - 剣道 滋賀選抜、先鋒 (手塚 瞳)
  - ボート 男子ダブルス 5位
  - ヨット 少年女子シーホッパー級SR 北川 奈津子 28位
  - 少年男子FJ級 平野 貴和、田村 和也 16位
  - 全国選抜大会出場
  - ボート 女子ダブルス 16位
  - 男子ダブルス 16位
  - 女子個人形 (木村 陽子)
- 【文化部】 全国高文祭
- 放送 かるた
  - 書道 作品出品 瀬戸 瑠里子
  - 放送 かるた
  - NHK杯全国高校放送コンテスト 創作ドラマ部門 参加
  - 全国高校かるた選手権 団体戦 ベスト8
  - 個人戦 C級
  - 白子 佳奈絵 4位
  - 第44回 日本学生科学賞 入選三等「クスのフェノロジー」
  - 第44回 日本学生科学賞 入選三等「気泡の研究」
- 【その他】
- 生物 物理地学

### サクラサク！ 主要大学合格者数

大学	合格者数
(国立大学)	
神戸大	44名
大阪大	33名
滋賀医大	12名
北海道大	8名
名古屋大	7名
金沢大	4名
九州大	4名
筑波大	3名
静岡大	3名
東京外大	2名
三重大	2名
岡山大	2名
福島大	1名
一橋大	1名
富山大	1名
福井医大	1名
鳥取大	1名
島根医大	1名
徳島大	1名
防衛大	1名
(公立大学)	
大阪市立大	9名
京都府立大	6名
京都府立医大	3名
会津大	1名
京都市立芸大	1名
滋賀県立大	4名
大阪府立大	6名
神戸市外大	3名
名古屋市立大	1名
兵庫県立看護大	1名
(私立大学)	
立命館大	171名
関西大	32名
京都産大	17名
関西学院大	19名
近畿大	10名
慶応大	5名
大阪工大	5名
法政大	4名
京都女子大	4名
大阪薬大	4名
同志社大	78名
早稲田大	20名
龍谷大	19名
同志社女子大	12名
関西外大	7名
京都薬大	5名
上智大	4名
中央大	4名
仏教大	4名

### 編集後記



世の中景気が悪いとはいえ今年も各学年、膳所高の同窓会は盛んでした。昔の友に逢いたくなるのは歳を経た証拠かもしれません。そこで、男性諸君、ごめんなさい。私の学年は密かに女性だけの学年同窓会をやってみました。高校時代、絶対的男性社会の中で過ごした我々少数女性の結束たるや固いものです。同級生夫婦の夫は家でスネ、妻はホテルでルンルン。思いつきり喋って楽しかったです。こんな会が開けるのも春風のいたずらかも(?)

春爛漫の中、今世紀初めてのJUNJIDOをお届け致します。編集後記を書く頃には広報部はホッと一息です。熱心な部員もそうでない部員(何もしない)もいるので、編集後記を書かされるのもおもしろいですが、毎年の季節、皆様にお届け出来るよう頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

(N.O.)

上野 滋子 (東2) 谷口 啓司 (膳10)  
 田中美津代 (東4) 佐田 葉子 (膳10)  
 山田 勲 (膳11) 花坂 多恵子 (膳6)  
 高橋 好乃 (東4) 若代 敦子 (膳24)  
 服部 章 (膳12) 吉田 稔 (膳26)  
 岡澤 則子 (膳26) 森山 恵一 (膳30)

【ご意見、ご投稿お待ちしております。】  
 同窓会報「JUNJIDO」は、年に一回四月に発行しています。会員各位のご意見やご投稿をお待ちしています。  
 (広報部会)